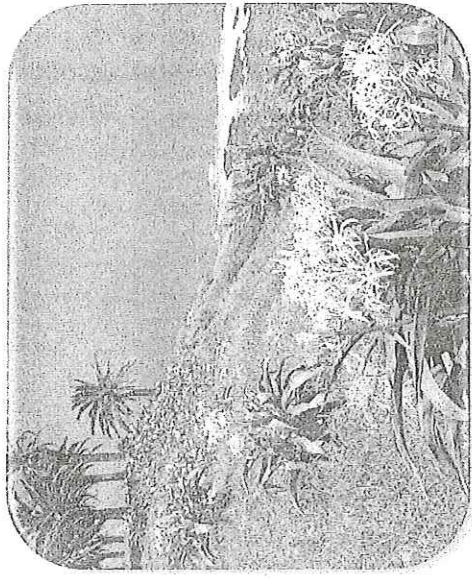


第76回憲法と平和を考えるつどい 憲法九条をふまえて、 東アジア・世界の平和を どう考えるべきか



安倍首相は、集団的自衛権の行使容認を閣議決定する意向を表明し、憲法九条を蹂躪する動きをいっそう強めています。一方で、そのような動きに惑わされることなく、情勢を正確に分析し、冷静に判断していくことが必要です。今回は、現代日本の軍事力と北朝鮮・中国の動向の分析にもとづき、憲法九条をふまえ、東アジア・世界の平和のため何をすべきか、みなさんと一緒に考えたいと思います。お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

講師プロフィール：

1956年、大阪府生まれ。明治大学教授。専門は、日本近現代の国家戦略史・軍事史・天皇制・植民地支配・戦争責任の諸問題、歴史認識・歴史教育論。主な著書に、『日本近現代史を読む』『護憲派のたぐひの軍事入門』『歴史修正主義の克服』『軍備拡張の近代史』など。2010年5月3日の第68回憲法と平和を考えるつどいでも講演をいただき、参加者に大きな確信を与えていただきました。

とき：2014年5月3日(土) 10時00分～12時30分

講演 10時～11時30分、質疑・意見交換 11時30分～12時30分

ところ：宮崎市中央公民館大研修室

やまだ あきら

講師：山田 朗 氏（明治大学教授、日本現代史）

主催：日本科学者会議宮崎支部、宮崎民主法律家協会

協賛：憲法と平和を守る宮崎県連絡会

◎どなたでも参加できます。なお、資料代として500円いただきます。

問い合わせ先：宮崎中央法律事務所(Tel.:0985-24-8820)

○ピースウォークのご案内：

つどい講演の終了後すぐに、「みやざき九条の会」主催によるピースウォークが行われますので、こちらもふるってご参加ください。

コースは、中央公民館を出たところから出発し、宮崎駅構内を抜けて、高千穂通り→山形屋交差点→若草通り→宮崎駅に戻り解散します。